

平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 スパंकリートコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 齊 藤 建 次
(J A S D A Q ・ コード 5 2 7 7)
問合せ先 常務取締役企画室長 飯 牟 礼 聡
(TEL. 0 3 - 5 6 8 9 - 6 3 1 1)

当社のコンクリート製品の放射性物質の影響について

5月1日に福島県から、「郡山市の下水処理場である県中浄化センターの下水汚泥から放射性セシウムが検出された」との発表がありました。

これを受け5月2日住友大阪セメント株式会社が、「同処理場からの汚泥を栃木工場のセメント原料として使用していた。製造したセメントは放射性関連の調査を行なう」との発表を行ないました。

更に、同社は5月6日にも追加発表を行ない、「同処理場からの汚泥はセメント全体量の1%未満である事、工場の放射線は公表された栃木県佐野市周辺の値と差異がない事」等のコメントをしておりますが、同時に「セメントの安全性は福島県が検査中であるのでそれを待ち関係機関の見解等も踏まえて判断する」、としております。

当社では、従来より住友大阪セメント株式会社栃木工場からのセメントを原料の一部として使用しており、製品として3月 11 日以来出荷しております。(実際には、大震災の影響で3月 11 日から 27 日までは宇都宮工場では生産・出荷は停止しておりましたので、3月 28 日以降の出荷が該当いたします。)

上記の件に関し、現時点で判明しております概要につき、以下の通りご報告いたします。

記

1. 穴あきPC板 J I S - A 6 5 1 1 規格では、放射性物質に関する規定は無く、当社の製品がもし放射性セシウムを含んでいたとしても、強度などの性能には影響はありません。
2. 当社製品の放射能関連の安全性に関してですが、汚泥には国による暫定基準値が無いこと、当社製品に与える影響が少ないこと、等から判断されるべきものと思われませんが、近日中に関係機関の見解が出た段階で改めて判断いたします。
3. しかしながら、セメントメーカーからのセメント放射量調査結果が現時点で入手出来ないこともあり、当社製品の放射線量の安全性確保の観点から、当社では現在大至急次の調査を行なっております。内容は判明次第、開示いたします。
 - ① 栃木県に当社製品の検体放射線量検査を依頼しました。1週間前後で結果判明予定です。
 - ② 当社独自で線量計を用いて、受け入れ済みのセメント(他社からのセメントを含む。)及び生産済み製品の放射線量を測定しております。

4. 本日以降の出荷分については、安全性が担保できる状態になるまで、基本的に需要家との確認を取った上で出荷の可否を決定いたしたく思っております。

以上